

ドファールの農業（５）

第５回：「ドファールの農産物の循環」についての意味

これまでドファール州内の各地域の農業の現状について個別に報告してきた。各地域の特徴を簡単にまとめると次のようになる。

- 1) Salalah（海岸平野）： 伝統的野菜・果樹栽培と近代的牧草栽培による酪農
- 2) Jabal（山岳地域）： 伝統的肉牛・らくだの放牧
- 3) Nejd（砂漠地帯）： らくだの放牧と近代的牧草栽培

ただ、これら各地域の農業は大きな絡みを持ちながら、また相互補完的に関連して成り立っている。下表のように各地域で生産された主要産物は、食料や肥料、飼料としてそれぞれの農牧業生産活動を成立させている。ただ、これら産物の流れはもちろンドファール州だけで完結できるものではないが、地域依存量は結構大きいのではと考えられる（化学肥料は例外的に扱った）。

	Salalah へ	Jabal へ	Nejd へ
Salalah から		農産物、ミルク製品 魚類飼料	農産物、ミルク製品
Jabal から	肉、ミルク原料 家畜堆肥		肉、家畜堆肥
Nejd から	牧草、らくだ肉	牧草	

また、もう一点付け加えたいことは、この相互補完作用は近年になると益々強くなってきていることである。言葉を変えると、各地域の農業活動は単独では成り立たず、分業化されつつあることだ。これまで長い間、各地域の生産活動が地域完結的状況で行われてきたが、生産活動の拡大とともに、その地域完結の範囲が次第に拡大しているように感じられる。地域完結型は持続性をもつが、生産量が少ない。反面「近代化」と言う名のもとでの最近の農業生産は増加しているが、これまで持続的と言われて行われてきた伝統農業の形態を壊しつつあるように感じられる。

両者の良い所を合わせると「持続的近代農業」だが、まさにこれがこれからの農業の求められる方向と考えても良いのではないか。今回は「ドファールの農業」最終回でまとめとし、今後のドファ



サララ近郊で売買されたJabal産の牛糞堆肥



サララ近郊で売られる牧草

ールの農業の方向性について紹介したい。